

第 35 回日本自然災害学会学術講演会にて学術講演会優秀発表賞を受賞しました (2016/9/21)

テーマ：災害科学，受賞

場所：静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）

9月21日（水），静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）で日本自然災害学会が主催する「第35回日本自然災害学会学術講演会」が開催され，当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）及び林晃大助手（寄附研究部門）が「平成28年度学術講演会優秀発表賞」を受賞しました。学術発表優秀賞は優れた発表を行った若手研究者（当該年の12月31日で満35歳以下の自然災害学会の会員）に対して授与されるものです。計8件の受賞のうち，2件が当研究所の受賞であり，最も多い件数となります。当研究所関係者の受賞は，昨年の第34回（平成27年度）に引き続きの受賞となります。佐藤翔輔助教は，2年連続・のべ3回受賞したことになり，学会の新記録となりました。受賞対象となった発表は次の2件です：

【講演テーマ】

- 佐藤翔輔：
子ども世代における東日本大震災の記憶の現状—東松島市での2つのワークショップから—
- 林晃大，山下啓，今村文彦：
仙台平野における東日本大震災の被害実績に基づく海岸林の津波リスク軽減効果に関する考察



授賞式の様子（佐藤翔輔助教）



授賞式の様子（林晃大助手）



受賞者

（左から，林晃大助手，佐藤翔輔助教）

文責：林晃大（寄附研究部門），佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）